

☆「夏祭り・盆踊り大会」・8月11日(土)

配布

| | |
|------|----------|
| 大洞 | 4-77 |
| 東山 | 4-50 |
| 北山 | 38-360 |
| コモン北 | 5-89 |
| 桜台 | 23-335 |
| 桜市 | 40-294 |
| 柏台 | 31-328 |
| 柏市 | 26-205 |
| 桐丘 | 23-195 |
| 桐市 | 6-41 |
| 紅葉 | 21-267 |
| 紅市 | 16-117 |
| 桜2P | 1-25 |
| 計 | 237/2383 |

防災訓練 車イスと初期消火に重点を置き

—芥見東自治会連合会副会長・玉田 昇三

今年、災害時要援護者の車イスによる避難・誘導訓練、各避難所内での要援護者に配慮した場所(トイレ)に移動しやすく、静かで明るく、オムツの交換・授乳などができる)の確認訓練およびバケツリレーによる初期消火訓練に重点を置いて行いました。



“車イスの使い方がっていますか”

車イスの前輪が後ろ向きになっていると転倒しやすく、前を向いていると倒れにくくなることを説明しました。段差のあるところ、坂道の下り方など、車イスを使用した介助の仕方を少しでも多くの方に理解していただき、災害時に役立てていただけたらと思っています。

“車イスを使ってわかったこと”

各避難所に車イスが入るスロープが無い。今後岐阜市のほうへ要望します。他に気づかれたことがあれば、各支部長にご連絡ください。

これからも、災害時要援護者を含めた防災訓練を取り組んでいきます。 □ ■

里山交流 親子で緑一杯の自然楽しむ

—コモンヒルズ北山支部・伊藤 恵さん

「食べるんとは生きるんと」。2年前、親子で正しい食の知識を学び、仲間との交流を深めるため、「育児は育自」をモットーに「ほっぺの会」は発足しました。

先日ほっぺふれあい講座「里山へ行こう!!」を行いました。里山広場には七宗町や市橋からも参加頂き、10組の親子と大洞保育園の年長さんが集まりました。 

阪神大震災の教訓 多くの人に支えられ

—野島断層保存館副館長・米山 正幸さん



先日、芥見東自主防災研修会にお伺いする前に「芥見東地区防災コミュニティ計画」を拝見し、細部までしっかり作られているのには驚きました。



当日は、皆様方の「災害に強いまち」をつくらうとしている熱い思いが感じられ、防災訓練の説明の時も、実際に災害が起こった時どうしたらいいのか、そのための訓練をしようとしているのがよくわかりました。

震災当時、北淡町では実際に消防団が活動したのは当日の午後からで、それまでは、学生やおじいちゃん、おばあちゃん住民全員で生き埋めの300人を助け出したのです。当時の北淡町は地震に対する備えが全くなくパニック状態になってしまいました。

地震に対する訓練をやり、きちんとしたマニュアルがあれば助けられた命もあったでしょう。ただ一つ良かった点は近所づきあい、地域コミュニティだと思います。

月に1回、年に1回でも自治会のイベントに参加して地域の皆さんと顔を合わすことです。これが1番の防災訓練だと思います。私自身「自分の命は自分で守る」「自分たちの地域は地域で守る」この意識を一人でも多くの方に持っていただけるよう、しっかりと語り継いでいこうと思っています。 □ ■

東児童センターの笥先生による親子遊びで始まり、楽しい笑い声にニホンアマガエルが顔を見せ、子供達も大喜び。散策タイムには、「里山つくり会」の方々の案内で、ヨチヨチ歩きの子も園児に負けじと歩き、お母さんと緑一杯の自然を満喫しました。

手作りのおにぎりとはっぺスタッフによる豚汁を食べ、エプロンシアターでどんなゲンキッズ(栄養素)が揃っているか観てもらいました。おにぎり汁物でも具たくさんにすることでバランスが整った食事ができることを学び、自然の中で食べるご飯はとてもおいしかった。

“親子で楽しく食育!”を体験しながら、未来に続く心と体づくりで友達の輪を広げてみませんか。

(問い合わせ:伊藤まで 090-8952-0558) □ ■

*「こうしては?」のご意見や話題・知恵・要望などを、ご連絡先を付して東公民館ポストまでお寄せください

☆「心身癒される里山の遊歩道を歩いてみませんか」

7月の里山整備・・・日時:7月28日(土)8時30分

「大洞の里山つくり会」

☆乗客の皆さんに好評な「中学生ヘルパー」が今年もみどりっこバスに登場...夏休みの藍川東中学生がチャレンジしてくれま

☆みどりっこバスが全国から注目を集め、知多市役所・朝日新聞岐阜支局・読売新聞足利通信部からの視察・取材を受け、7月も桑名市自治会連合会がみえます

コミュニティ活動 老若男女を越えて



一岐阜市企画部長・伊藤 彰啓さん
今後10年ぐらいは、団塊の世代といわれる人たちが第一線を退き、地域のマンパワーはこれまでも増して充実すると考えられます。

先日開催した会合では、高校生から高齢者の方まで広い年齢層に参加をいただくことができました。そして、参加された若い人と高齢の方が、等しく、異なった年齢層と話すことができたいへんよかったですと言われました。

コミュニティの活動は、退職世代の活躍の場となりますが、芥見東・南のコミバスにおける中学生ボランティアの方のように、いかに老若男女を問わずに楽しく参加することができるかが、鍵となるように思います。

そうして、若い世代の人たちが生まれ育った土地とコミュニティを心地よく感じ、愛着を持つことが、地域が持続していくための第一歩となるのではないのでしょうか。 □■

山田川清掃 何とかならぬか？ポイ捨て

一紅葉が丘支部・安藤 聡さん

自治会長になって3か月がすぎました。何もかもが初めてでびっくりしているのが現状です。自治会に対して要望をお持ちの方が多くいることがわかりました。より多くの意見を反映できるよう努力したいと思っています。

自治会では5月に山田川の清掃がありました。何気なく通っていた道ですが、こうして多くの方々の努力できれいになっていることに改めて気が付きました。参加してよかったと思っています。と同時に道路・川などにポイ捨てる人の多さにも驚かされます。

空き缶・ペットボトル・雑誌・たばこの吸い殻・・・なんと多くのごみが落ちていることでしょう。役員の話ではこれでも少なくなったそうです。もう少しみなさんがルールやエチケットを守ってくれば良いのにと思いました。 □■

健康寿命 自分の健康は自分で守ろう

一芥見東自治会連合会長・多田 喜代則

皆さん、特定健康診査を受けていますか。

特定健康診査とは、生活習慣病を予防するために自分の体の状態を年に1度チェックすることで、対象者は、各健康保険に加入している40歳から74歳までの人です。

岐阜市国保の場合は、自己負担800円で必須項目を最寄りの委託医療機関で検査していただけます。

特定検診の受診率ですが、芥見東の場合、岐阜市内50地区の中で、平成21年度が16位(36.1%)、22年

願成寺 神様と仏様に浅ましいお願い

一芥見東自治会連合会理事・小森 東雄

隠れ花見名所の光輪公園の花見帰り、願成寺に寄ったら神社等もありました。住職にお話を聞いたところ、明治新政府の神仏分離令により神社と寺院の区別が公的に行われ、現在のようになったとのこと。

稲荷・白山・神明・秋葉・多度の神社があり、馬頭観音・美濃新四国八十八ヶ所南無弘法大師堂・聖天堂、その祠には歓喜天が祀ってありました。まだ見落として



いるかもしれませんが、仏様は大変靈驗あらたかで、人間のどんな願いでも一心に頼めば必ず聞き届けてくださること。なお過って天狗もいたとか！

神様も五穀豊穡・家内安全・交通安全・学業成就・火防など聞き届けてくださると表示されていて、手軽だったのでいっぱいお願いをしました。少し浅ましいのご利益が・・・？ □■

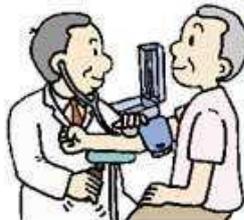
新米支部長 この地域が良くなるように

一コモンヒルズ北山支部長・佐藤 功さん

今春から支部長として参加させていただいています。事前に聞いてはいたが、思った以上に「多忙」というのが正直な実感であり、加えて初めての経験であり、分からず・迷い・戸惑いの連続です。本部役員のみなさんの熱心な取り組みぶりには、頭の下がる思いです。

ただ残念なことに、仕事を持つ身でもあり、その調整を図りながらやらせてもらっており、やりくり下手な私にとって、まだまだ四苦八苦の日が続くと思っています。

支部内のみなさんにはいろんな無理なお願いをしていますが、いい機会をいただいたと前向きに考え、少しでも私たちの地域がよい方向に向くよう、住民として少しでも地域のお役に立てるよう頑張ります。 □■



度は28位(31.3%)でさらに昨年23年度はなんと33位(31.4%)にまで下がってしまいました。昨年の1位は、42.0%だそうです。岐阜市の目標は、65%ですので、まだまだ相当がんばらなくてははいけません。

特定検診該当者には岐阜市から「特定健康診査受診券」が送られています。ぜひとも9月30日までに受診して、毎日を健康で過ごしましょう。 □■